





**武野【出来る男】:**「100mの準決勝では、県大会を意識しすぎて固くなってしまいましたが、200mでは、予選→準決勝→決勝と反省点を修正しながら自分らしく走ることができました。前半から積極的に行ったことでカーブを抜けた時にスピードに乗れて、力を余すことなく走り切れました。マイルでは、練習と比べて前半の入りを速くしたことで、タイムを4秒縮めることができました。県大会でも自分らしい走りができるようにしたいです。応援、サポートありがとうございました。」

**加計【春の主役】:**「400mHでは『自分のできる走り最後までやり切ってやるぞ』と何度も自分に言い聞かせて臨みました。予選ではインターバルの走りが当初考えていた歩数よりも増えてしまったりと予定通りとはいきませんでした。決勝でも周りのレベルの高さからとても緊張していました。結果は予選よりもハードルの飛び方など反省点が多かったし、タイムもよくありませんでした。しかし自分よりも何秒も速い選手たちと走れるのはいい経験になりました。初めて走ったマイルではラップタイムがあまりよくなかったけれどチームの仲間がカバーしてくれて、7位を取れた時タイムはどうであれとても嬉しかったです。県大会ではハードルで当初考えていた歩数で走り切って58秒前半、400でラストのスピードを改善して51秒台、マイルもラップタイムを縮め、3分30秒を切りたいです。」



**渡部【飛躍確実】:**「800mで不甲斐ない走りをしたから、取り返そうと思って無我夢中で走った。武野からバトンをもらうときに若干タイムロスしたので、県大会ではこれを修正して臨みたい。」



**原田【県で驚かせる】:**「幅は国体予選の時と比べ、助走のイメージが固まってきて、だんだん動きもわかってきました。ですがまだ安定しない部分があるので、いつも同じ助走ができるようにしたいです。また、踏切から後に後傾してしまうので、県大会ではそこを意識したいです。入賞することはできましたが自己ベストは出せていないので、県大会では1cmでも自己ベストを更新できるよう頑張ります。マイルは前回よりは最初から攻めることができたのでよかったです。もう少し最初のペースをあげ、次の直線のスピードを上げられるようにしたいです。また、全体的にピッチが遅いので、県大会では全体の走りのリズムを上げられるよう頑張ります。」



**松本【動かせる選手】:**「初めてのマイルでとても緊張しました。前半はあげることができたのですが後半はバテバテの走りとなってしまいました。これからの練習で足りていない分の体力をつけていきたいです。」

**伊藤【未完の大器】:**「初めての大会、とても緊張しました。個人種目で2つ県大会に行くのが目標だったので悔いは残りますが、やり投げで入賞できたのは嬉しいです。しかし、重心移動や肘の動き、精神面など内容は満足できるものではなく、多くの改善点があると思います。まずは県大会までの残された時間で出来ることを精一杯やり、自己ベストを目指して頑張りたいです。」

**井上【長距離の救世主】:**「南部地区大会では練習の成果が発揮出来ました。今の自分に満足せず、県大会では1500m・3000mどちらも自己ベスト目指して頑張ります。」

